うさぎとかめの通信 上越市立高田幼稚園

（園長室だより）　１０７周年
令和５年７月２１日　　第１８４号

HP の QR コード

「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本!

☆1学期終了☆

～子供たちの笑顔があふれて～

４月、年少のもも組の子供たちが入園し、４か月が経とうとしています。「ママに会いたい！」と言って泣いていた子も、幼稚園の生活を楽しみ、いろいろな遊びに自ら取り組む姿がたくさん見られました。友達の名前も覚え、「〇〇ちゃん、□□くん」と、友達とかかわりながら遊びを広げています。６月の運動会では、いつもの遊びの延長で競技を仕組み、無理なく遊びの一環として楽しんで過ごすことができました。今年は、家族のみんなに応援していただけたのも子供たちの励みになったように思います。ありがとうございました。どろんこ遊びに、水遊び、プール遊びなど、すべて初めての子供たち。ドキドキしながらも、みんなで楽しんだようです。

年中のうめ組の子供たちは、虫捕まえやどろんこ遊びも慣れたもの。昨年の経験をもとに、さらにバージョンアップして遊んでいました。生き物が大好きで、自分の友達？家族？のように生き物をかわいがり、一緒に遊んでいました。水族館を作りお部屋で水の中を表現するのに青色のスズランテープを張り、そこに魚を泳がせたり、折り紙のオタマジャクシやカエルも自分たちにとっては大事な仲間のように、カエルのお面を作って遊んだり、想像の世界を広げていました。「どうする？」「〇〇にしよう。」など、友達との関わりが増え、遊びをみんなで楽しむ様子がたくさん見られました。

まつ組の子供たちは、遊びのリーダーです。どろんこ遊び、お祭りのお店ごっこ遊び、迷路づくりなど、うめ組やもも組の憧れになっています。下の子供たちは、お客として招待されたり、まつ組の遊びをそばで見たりしていて、「自分たちもしたい！」「やろう！」と遊びが広がっていきます。お祭り遊びも試行錯誤しながらどんどん進化していきます。子供たちの発想の豊かさや遊びを作り上げていく力強さに感心します。

☆第1回　学校運営協議会☆

７月１２日（水）に第１回の学校運営協議会を開催しました。地域、保護者、小学校等の関係者の方から委員になっていただき、高田幼稚園の教育活動について、ご意見やご助言をいただきました。

【委員の皆様からのご意見（一部です）】

・見るたびにのびのびやっている。もっとたくさん幼児がいてほしい。
・幼児教育の大切さを感じた。自分で考えて行動できることが、この年代でもできることを感じている。
・子供にとっての遊びとは何なのか、先生方同士で共有するとよいのでは。
・小学校では、安心スタートプランで、幼稚園の取組をできるだけ生かしている。幼稚園との交流を行っていきたい。
・初めての６月開催の運動会であったが、先生方の「できる範囲でできることをやる」の言葉どおり、大成功であった。いろいろ変えていったらよいと思う。
・幼稚園の魅力の一つが、一日中遊んで想像力や発想力を遊びの中ですごく育ててもらっていること。家庭での遊びや生活も、幼稚園のことが土台になっている。
・外遊びなど、コロナ禍の３年間のブランクを少しずつ取り戻していけたらと思う。

委員の皆様からのご意見やご助言、ありがとうございました。皆様のご助言を生かし、これからも「友だちとかかわりながら、自発的・主体的に取り組む子ども」を目指し、全職員で教育活動や援助の工夫、改善を図っていきます。

本日で１学期が終わります。
保護者、地域の皆様、ありがとうございました。